

本紙も
創刊150号!

横浜開港150周年記念商店街イベント

横浜開港150円商店街

商店街・商店の存在アピール&販促の機会!
参加して年間販促計画に盛り込もう!

<参加申込受付中、締切2月27日>

開催日程	2009年6月~2010年2月の偶数月第2土曜日(雨天決行)
開催時間	各店舗の開店時間
会場	参加商店街各店頭
内容	各店で用意した150円商品(サービス)を店頭に陳列・販売
付加サービス	『150円商店街ポイントカード』(ポイントシール台紙、右写真)商品購入ごとにポイントシール1枚を進呈。消費者はポイントカード(50円切手を貼ると市商連宛はがきとなる台紙)に10枚貼り、応募(投函)する。各回ごとに抽選。締切は開催月の末日。抽選は翌月初旬。

市商連では、横浜開港150周年の今年、横浜市の支援を受け、個々の加盟店を主役とした150円商品の売り出しを各商店街ごとに実施するというイベント企画、「横浜開港150円商店街」を用意しました。開催日は今年の6月から来年2月までの偶数月第2土曜日です。

この企画の盛り上げ策として、お買い上げの方に抽選で賞品が当たるサービスも実施します。また、市商連ホームページやマスクミ等各種パブリシティーへの告知などで広報にも努めます。「横浜開港150円商店街」について、各商店会にご検討のうえ、ぜひご参加ください。

2009年
横浜開港150周年
2010年
APEC首脳会議は横浜で!

本号の主な内容 1-2 = 横浜開港150円商店街 3 = [必活!商店街仕掛け人] 港南区・上大岡駅東口商店会・大塚博会長 4-5 = [元気商店] 泉区・なかだ商店会「ジャンボ」[まだまだ修業中] 保土ヶ谷区・洪福寺松原商店街振組「いのまた陶器店」猪股桂子さん [Myrefresh] 青葉区・青葉台連合商店会・土志田勇吉さん 6 = [FROM市商連] 第53回横浜優良小売店舗表彰/優良商業従事者等を表彰/臨時総会・予算総会のお知らせ [FROM市役所「緊急借換支援資金」の保証料助成を実施 7 = [NEWS] 8 = [特別企画] マリノス・齋藤社長と市商連・岡野会長が対談

よこはま 市商連

150号 2009年(平成21年2月号)

発行 社団法人横浜市商店街総連合会
発行人 岡野誠一
〒231-0014 横浜市中区常盤町3-24 サンビル2階
TEL. 045-662-0874 FAX. 045-662-5888
eメール kato@yokohama-syoutengai.com
制作 有限会社商店街情報センター

市商連HP <http://www.yokohama-syoutengai.com/>



150円商店街ポイントカード

を盛り上げ、商店街・商店の存在を改めて消費者にアピール、個店の販促につなげ、商店街の再生・復活へのきっかけづくりにつなげようというものです。加盟店舗の概ね70%以上が参加することが、参加商店会の条件となります。ポスター、のぼり、チラシ(いずれも内容は共通)などの宣材は市商連が、参加各商店街に無料で送付、また、この企画の盛り上げ策として、お買い上げの方に抽選で賞品が当たるサービスも実施します。

電気料金半額を 実現しました!!

*省エネ・エコ電球(ナショナル製)採用



サンコー電機株式会社

神奈川営業所

横浜市青葉区たちばな台2-24-4

TEL.045-962-4517 FAX.045-962-4539

<http://www.sankodenki.jp>

保土ヶ谷区
西谷商栄会
街路灯55基
放送設備一式
新設工事完成

「横浜開港150円商店街」FAQ

1 「横浜開港150円商店街」の趣旨

Q1 「横浜開港150円商店街」とは何か。

A1 消費者の足が大型量販店に向かい、商店街においては衰退の傾向が顕著に見られる現在、商店街の知名度の向上、商店街の販売促進など商店街活性化に向けての取り組みの一環として、横浜開港150周年を契機として「横浜開港150円商店街」を実施します。

Q2 商店街では、これまでいろいろなイベントを行ってきたが、これまでのイベントとどう違うのか。

A2 これまでのイベントは、イベント担当役員など一部のスタッフのみが忙しく、また、「福引会場」など商店街の一角にしか集客できず、来街者を商売につなげるには全て個店の営業努力にかかっていました。

「横浜開港150円商店街」では、イベントに取り組みお店の全てが参加することとなり、役員の負担が軽減され、なおかつ各個店においては「商売に直結」することが異なります。

Q3 なぜ、商店街のおおむね7割以上の店舗が参加しなければいけないのか。

A3 商店街全体を「150円ショップ」に見立てて商店街全体でイベントを盛り上げ、来街者の増加を図り、商店街の知名度の向上を目的としています。本来ならば商店街加入店舗全店の

参加が望ましいと考えています。

Q4 商店街の活性化に結びつくのか。

A4 1回開催したからと言って、それが即商店街の活性化につながることは考えていません。同様のイベントの先駆的商店街である山形県新庄市内商店街における「100円商店街」についても2004年7月からすでに4力年を経過し市民の間に定着してきています。新庄市の例からも息の長い取り組みが必要で、その結果として、商店街の活性化につながっていくと考えています。

2 「横浜開港150円商店街」での提供物品等

Q5 何を売ったら良いのか

A5 基本的には、長期在庫となっている商品を活用したらと考えます。

また、通常取引をしている問屋等で長期在庫となっている商品を安価に仕入れこれを販売することも可能と考えます。

なお、両者にて対応できない場合には、通常、店舗で販売している商品のうち、品目を定めイベント開催日に限り15%引き等にて販売することも方法と考えます。

Q6 サービス業の場合は、何を売りたいらよいか。

A6 例えば、クリーニング業にあつ

ては、Yシャツクリーニングを150円ですということに、あるサービスを150円で提供する。また、理美容業にあつては、子供（未就学児童）の理美容を150円で提供するなども考えられます。

3 商店街組織の取り組み等

Q7 商店街として「横浜開港150円商店街」への出店はどうか。

A7 商店街として独自に出店することも可能であると考えられます。

売上金については、「横浜開港150円商店街」継続の資金として活用することもできるのではないかと考えます。出店の例として、

(1) 冬季であれば「豚汁」1杯150円で来街者に提供する（保健所の許可を必要とする場合があります。事前に保健所の確認が必要です）。

(2) 子供を対象とした駄菓子や150円で販売する。

(3) 地元農家との連携による地産野菜の販売。物産展などが考えられます。それぞれの商店街が独自に創意工夫の元に参加することにより、「横浜開港150円商店街」が商店街活性化に有効に機能すると考えます。

Q8 商店街に加入していない店舗から「横浜開港150円商店街」への参加を求められたらどうしたらよいか。

A8 これを機会に、商店街への加入を勧めてください。商店街への加入の後、参加を認めるようにしてください。

4 「横浜開港150円商店街」実施に向けての広報等

Q9 「横浜開港150円商店街」をどのように周知するのか。

A9 市商連としては、統一ポスター作成・配布、のぼり旗作成・配布、各報道機関等への情報提供など、できる限りの方法により広報をしたいと考えています。

なお、実施商店街独自チラシの作成・配布等、市商連で実施する広報活動に併せて行うことがより効果的なものになると考えます。

3月6日「説明会

「横浜開港150円商店街」について説明会を3月6日（金）午後7時から、横浜市技能文化会館8階の802大研修室で予定しています。この説明会には、新庄100円商店街の中心的メンバーである、NPO AMPの齊藤一成局長をお招きし、留意点その他についてお話しただく予定です。

*説明会には、「横浜開港150円商店街」参加検討中の商店会の方でも出席できます。市商連事務局へご連絡ください。

市商連事務局
TEL 662・0874 FAX 662・5888
Eメール kato@yokohama-syoutengai.com

昨年11月に完成した「上大岡駅東口商店会ショップ情報」
(A3判・3ツ折、5000部作成。中面のマップはカラー)



魅力をアピール
商店会マップ作成で個店と地域の
上大岡駅東口商店会では、昨年11月

港南区・上大岡駅東口商店会
会長 大塚 博さん



大塚会長(京急上大岡駅=右手奥=に向かう商店会の通りをバックに)

必活! 商店街 仕掛人
仕掛ければ動き出す!

会員間のコミュニケーション強化にアイデア

に商店会マップを作成した。中面がマップで41の会員店をキャッチフレーズ付きでアピール。表面は、「自然と歴史のフットパス」(Foot Path=英国では歩くことを楽しむための小道をフットパスと呼んでいる)と題して、区内で見られる石仏群や源為朝伝説などを織り交せて周辺の散策コースを紹介した。「タウン紙で紹介されたこともあって、マップをくださいと店に来るお客様も多く、反響がありましたね。来年度も第2弾を発行したい」と、大塚博会長(68歳)。個店や地域をアピールするのに大いに役立つと評価する。

商店会ポストの設置などで

会員間のコミュニケーション強化

同商店会は結成後16年、まだまだ若い商店会と言える。上大岡駅前の再開発を機に、東口の店の存在を示さなければ置いて行かれてしまうとの危機感から商店会を設立。当初は存在アピールのため、イベントや売り出しも活発



薬局(店の奥が商店会事務所)の入口に設置された商店会ポスト

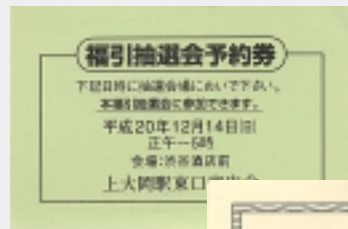
に展開した。しかし、再開発も一段落。一応の役目は果たしたとして、ここ2年ほどは活動も停滞気味だった。そこで、「これではいけない。商店会は常に元気がりを示していかなければ」と、組織再編に乗り出したのが大塚会長を始めとする8名の現役員たち。まずは、会員間のさらなるコミュニケーション強化に取り組んだ。

「パソコンの時代なのに、手書きのお知らせなんですよ」と大塚会長が言えば、他の役員がすかさず「会長は達筆だし、気持ちがいい」。昨年、年末には久々に福引売り出しも実施し、全店に抽選箱を設置した。バス旅行や歌謡ショーご招待、現金つみ取りのほか、特別賞のサービス券(左写真)は使用できる個店を限定。お客様が確実に個店に足を運び、サービス券の額面以上に消費してもらえようという企画で、会員からも好評だった(催事後のアンケート調査の結果から)。

41店のうち物販10、飲食21、ビル管理や会計事務所、医院など非物販が10という業種構成では一同に顔を合わせると協議するのは難しい。時間のある時にいつでも投票できるポストを設置した後は、意見や返事などを常に半数以上回収できるようにしたという。もう一つは頻繁な情報発信。商店会

として何を考え何をやるうとしていくのかを細かく会員に伝え、会員からも意見を求める(直接が無理なら商店会ポストを通じて)。

歳末抽選福引日はあいにくの荒天だったが、来場されたお客様には甘酒やとん汁を振る舞うなどして喜んでいただいた。



まず個店の抽選箱で福引予約券(上)を引き当ててから、本抽選日に会場で福引。個店に足を運んでもらえるようあえてハードルを高くした。下が「個店限定サービス券」。記入された店以外では使えない。

泉区・なかだ商店会
株式会社ジャンボ 武田良一さん

がむしゃらに顧客開拓とサービス追求

「人間力と商品力が基本」と言う武田さん

店舗自体が様々なサービス情報源となっている「ジャンボ」(本店)



大評判!



者ではなさそうだが、店内には、「クイックサービス」(11時までに預けると夕方5時まで仕上げる)や金券サービス(クリーニング利用380円ごとに30円券。水曜と日曜は50円券)、靴の丸洗いサービス、防虫サービス

現在、泉区を中心に6店舗と1工場を経営中。社員6人、パート約40人。支店網の強化が課題の一つという(株)ジャンボの武田良一社長(64歳)。その元気を紹介する。
(取材は、泉区中田の本店に伺った)

中学校卒業後、11年で独立
武田良一さんは富山県砺波市生まれ。地元の中学校卒業後、東京・練馬区でクリーニング店を経営する叔父さんに請われ住み込みで就職した。親戚だが特別扱いはない。3段ベッドが2つある8畳ほどの部屋に6人住まい。最初の5年間はクリーニングの技術は教えられず、注文取りやお客さん開拓の毎日。休みは月に1日か2日。早朝から夜遅くまでひたすら仕事。だが、そんな生活も当たり前という時代で苦にならなかった。

同県人の女性との結婚を機に、兄の協力で泉区中田に店舗兼住宅を建てた。1970年、26歳の時だった。横浜に縁はなく、ゼロからのスタート。「ほか100円ならうち70円で」という低価格を武器に、断られても断られても通い続けてお得意先を増やした。
夫婦2人で1日16時間ぐらい働いた。注文を多く取り、その仕上げで気がついたら夜が明けていたということもしばしば。「それも夫婦だからできたこと。ただ、女房は大変だったと思う」と奥さんを思いやる。

多様なサービスと情報提供
「私の若い時代は努力すればそれなりに結果もついてきたが、今はがむしゃらにだけじゃだめ。ここを使わない」と自分の頭を指さす。
しかし、「明るく元気で働く」「価格を安くする」だけの経営

エコリサイクル宣言等々、様々なポスターが掲示されていた。
また、店奥の事務所には、「仕事の流れ図」や社内ミーティングの結果などが貼ってある。その中に、「値上げはせずに整理整頓の徹底などで無駄をなくす」とある。伺ったところ、無駄遣いにはお金だけでなく、時間や場所の無駄もある。整理整頓されていれば、探す時間や場所も効率的に使える」とのこと。

人材育成や商店街有志の勉強会にも注力
支店を増やすには人材も育てないといけない。武田さんは、「最初は苦労したが、現在はそれが糧になり、定着する従業員が多い」という。定着の基本は、「コミュニケーションをしっかりとることによる信頼関係」。

大型店対策として、商店会有志で10年近く前から勉強会を開き、そのうち数店舗で毎月ごとに共同チラシを配付しているが、その世話役を引き受けている。
「商店街で、ご利用きや宅配を継続できれば多くの住民に喜ばれ、商店街も活性化する。どうすれば可能か」が武田さんの懸案でもある。

地元商店街から盛り上げよう!

横濱開港150周年記念カード



横濱開港150周年



3種類のデザインからお好きなカードをどうぞ *デザイン画所蔵:横濱開港資料館、(財)黒船館

会員の皆様もぜひカード会員になってください。様々な特典付きです!

- 特典1** 入会者全員に『横浜みなとみらい万葉倶楽部』平日セット入館券プレゼント!(2,620円相当)
- 特典2** カードでお買い物をするポイントが貯まり、いろいろな商品と交換できます!(Lifeサンクスプレゼント)
- 特典3** 年会費永久無料

個店特典

カード端末を導入(加盟店)または切替をし、本カード利用の場合に限り、手数料が超優遇レートに

区商連、単会特典

会員獲得1件ごとに報奨金をお支払します。(区商連へお支払)



お問い合わせ・お申し込み
0120-179193
www.lifecard.co.jp

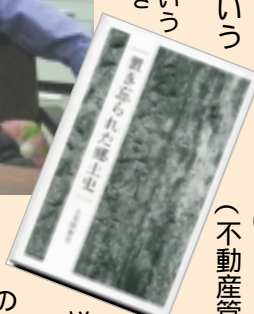
My refresh

郷土史執筆 土志田勇吉さん

青葉区・青葉台連合商店会



土志田勇吉さん(76歳)は、昨年10月末、『置き忘れた郷土史』を執筆、自費出版した。内容は、源氏山という



屋号を持つ土志田さんの実家、鈴木家とその所在地、青葉区上恩田の歴史。昭和60年頃からとりかかったが、体調や仕事(不動産管理)の都合などで20年余りかかってしまった。鈴木家の先祖は、多田源氏と

間かされていた。また、上恩田地区と鈴木家については大正10年頃、東京大学資料編纂所が調査をして報告書をつくっているが、それは鈴木家には残っていない。上恩田地区の郷土史はなく、佐右衛門さんは記録に残そうと奔走したが果たせぬまま他界。そこで土志田さんが、息子の英一さんや知人の協力も得て資料探しや墓、位牌、碑銘板などの史物の調査を経て郷土史出版にこぎつけた。

保土ヶ谷区・洪福寺松原商店街振興組合
いのまた陶器店 猪股桂子さん

お客様の要望から品揃えやサービスを学ぶ

猪股桂子さん(40歳)が創業60年のいのまた陶器店3代目店主になつたのは2007年の秋、店舗を建て替えた後からだ。店舗は50平米ほど。店は母親の初江さんと2人で切り回している。桂子さんが努めているのは、「お客様が気軽に入り、自由に商品を見て、質問



自店だけでなく、商店街事業にも積極的に参加する



最近、人気が出始めた陶器のひな人形も陳列

したりできるような店づくり。そして、できる限りお客様の要望に応えること。「かめを買いたいけど、重いから配達してくれる」とお年寄りに頼まれれば、「私が配達できる時でよければいいよ」と引き受ける。また、「ほかの店でない、と言われた。お宅にある?」と聞かれ、ない場合、その場でカタログをチェックしたり取引先に確認、あれば「急がなければ頼めますよ」と応じるといった具合だ。この姿勢が、品揃えの充実や新規客の開拓につながっている。

商店街や町内会の行事にも積極的に協力。現在は洪福寺松原商店街振興青年部長、新年度から同振組の販促部長に内定している。

ただいま
修繕中

広告



長瀬まさみ

国民年金にプラスする公的な年金

国民年金基金

国民年金で老後生活の基盤を。
国民年金基金で老後生活にゆとりを。

毎月払う掛金は、将来も一定! 毎月支払う掛金は、自由に選べます。また、収入に応じて金額を増減できます。

掛金は全額社会保険料 他個人年金が5万円までしか所得控除されないのに比べて断然控除で、税金が有利! 有利です。将来受け取る年金も、公的年金等控除の対象となります。

支払った掛金は将来確実に年金に! 加入する時に、将来受け取る年金額が確定します。

国民年金基金は自営業など、国民年金を納めている60歳未満の方がご加入できる公的な年金制度です。掛け金の負担の少ない若い時からの加入が断然有利です。

お問い合わせ
資料請求等は

神奈川県国民年金基金

〒231-0063 横浜市中区花咲町1-5 第一東商ビル4階
☎0120-65-4192 <http://www.kana-kokunenकिन.or.jp>

第53回横浜優良小売店舗表彰

市商連と横浜商工会議所共催の第53回横浜優良小売店舗の表彰式が昨年12月9日、横浜商工会議所大会議室で開催されました。

今回、表彰されたのは、横浜商工会議所会頭表彰17店舗、市商連会長表彰14店舗、神奈川県知事・神奈川県商工会議所連合会会頭連名表彰5店舗。



このうち市商連会長表彰は次の通り。

RINA 2(保土ヶ谷区)、(有)飯原精肉店(瀬谷区)、江戸っ子、丸十早川ベーカリー(以上南区)、とんかつ松平(港南区)、(有)肉のキタムラ(港北区)、ジール、(有)今井かまぼこ店、gem flowers(以上西区)、大合殿 大新園(以上中区)、(有)丸ヤ商事(戸塚区)、(有)まるまふルーツ(緑区)、カラオケパブ嵯峨(金沢区)。

優良商業従事者を表彰

市商連では2月18日、横浜ベイシエラトンホテル&タワーズで、平成20年度商店街役員・優良商業従事者等の表彰式を開催します。

横浜市長表彰商店街従業員等10名、市商連会長表彰商店街役員20名、及び商業従事者30名、合計60名。



市商連賀詞交換会

本年1月8日(木) 横浜ベイシエラトンホテル&タワーズにて。各区商連の会長さんたちは揃いのハッピーを着てステージから新年のごあいさつ。

臨時総会 2月26日

横浜市勤労者福祉共済事業 受託に伴う定款変更について

市商連では横浜市から、中小企業従業員のための福利厚生事業「横浜市勤労者福祉共済事業(愛称「ハマふれんど」)」を平成21年度から業務受託することになりました。これに伴い、市商連定款変更の承認を諮るため、臨時総会を開催します。

日時 2月26日(木) 午後2時

場所 明治安田生命ラジオ日本ビル3階 会議室(中区長者町)

予算総会 3月26日

市商連では平成21年度予算総会を3月26日(木)午後2時30分より、明治安田生命ラジオ日本ビル3階会議室で開催します。

なお、総会に先立ち午後1時より理事会を開催します。

「緊急借換支援資金」の保証料助成を実施します!

横浜市では、昨年12月、既存の借入金の借換えにより資金繰りの改善を支援する「緊急借換支援資金」を創設しましたが、中小企業の資金繰りが一層厳しくなっていることを踏まえ、「緊急借換支援資金」に信用保証料助成を実施し、借入れコスト軽減を支援します。

この資金のご利用にあたっては、金融機関窓口にお申し込みください。

* 借り換えの対象となる資金は本市制度融資、及び市保証協会の保証付き融資です。

保証料助成

信用保証料率:

年0・8% 年0・6%

実施期間:平成21年2月2日~21年3月31日

*平成21年2月2日以降の保証承諾分から実施

融資対象者

国が指定した業種に属し、売上高減少等の要件を満たして、市長の認定(セーフティネット保証第5号認定)を受けた企業

*認定を受けた企業は、金融機関から融資を受ける際に通常の信用保証とは別枠で、最大2億8千万円まで信用保証協会の100%保証を受けることができます。

証を受けることができます。

利率 年1・8%以内

融資額 1企業8千万円以内、組合1億円以内

【問い合わせ先】

横浜市経済観光局金融課金融係
TEL 045・671・2592

【ホームページ】

(制度の詳細はこちらをご覧ください)
<http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/shien/yushi/>

大型小売店舗の計画と届出書類を市役所で見ることができます

横浜市内: 問合せ先・縦覧場所・意見書提出先
【横浜市経済観光局産業立地調整課】 Tel.045-671-2598
URL <http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/jourei/ritihou.html>

届け出の内容

・新設(新設のみ店舗所在区の各区役所区政推進課でも見ることができます)				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	開店日	店舗面積	
(仮称)東戸塚駅西口駅前計画(戸塚区)	(株)東急ストア、(株)鈴花園ほか	H21.4.30	2,995平米	H21.2.16
(仮称)戸塚ビル(戸塚区)	ヒマラヤ、三和、ニトリほか	H21.12.1	11,813平米	H21.5.16
・大規模小売店舗の施設の配置及び運営に関する変更				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	主な変更点		
キュービックプラザ新横浜(港北区)	(株)高島屋ほか	駐車場利用可能時間帯		H21.2.3
ラビス戸塚1(戸塚区)	(株)マルイシーズンズほか	開・閉店時刻		H21.2.16
コープかながわ上郷店(栄区)	生活協同組合コープかながわ	開・閉店時刻/駐車場利用可能時間帯		H21.2.16
キュービックプラザ新横浜(港北区)	(株)高島屋ほか	開・閉店時刻		H21.5.25



100円商店街について説明を聞く市商連企画委員ら

横浜開港150円商店街成功目指し、新庄市で研修

市商連企画委員会、石川清貴委員長、市商連副会長、神奈川県商連会長（市商連副会長、神奈川県商連会長）は1月20日、山形県新庄市を訪問、「100円商店街」の運営などについて、「NPO AMP」のスタッフから研修を受けた。参加したのは、石川委員長ら委員5人のほか、市経済観光局商業・コミュニケーションビジネス振興課、市商連事務局のスタッフら5人。

目的は、市商連が各商店会に呼びかけ今年6月から来年2月まで偶数月の第2土曜日に実施する「横浜開港150円商店街」の運営研究のため。AMPは、「新庄のまちを活性化したい」という人々が03年末に結成した団体で、100円商店街の事務局も担当している。

100円商店街は、商店街への集客と顧客の店内誘導、品揃えなどについての個店の意識改革などを目的に04年から始め、開催日は爆発的なにぎわいを見せ、ふだんの来街者増にもつながっているという。

マスコミではしばしば報道されたこともあり、視察や講演依頼も多く、全国約200の商店会が実施するようになった。

要件は、(1)100円商品は店頭で販売、(2)100円商品

のそばに必ず人を配置して接客、(3)100円商品の精算は店内で、の3点。横浜から新庄まで片道4時間以上、日帰りのハードな研修だったが、この日学んだことは、「横浜開港150円商店街」に必ず生かされることと思つた。

「地域経済元気づくりシンポジウム」開催

横浜市経済観光局では、1月22日午後6時から、横浜メディアビジネスセンターで「地域経済元気づくりシンポジウム」を開催、約70名が参加した。この日のプログラムは、

(1)講演「地域で輝く商店街」

講師は、東京の神田駅西口商店街振組・秋山昭理事長。

パブル崩壊後、サラ金や風俗営業の客引きが急増した神田のまちを、商店や企業、町内会などと連携した安全パトロールや道路の清掃など美観活動、ITを活用した情報発信などで集客力を増し、活性化しつつある状況を報告。

(2)元気づくり支援拠点運営者からの活動報告

報告は、中区伊勢佐木地域、旭区希望が丘地域、戸塚区戸塚駅東口地域の運営責任者。



「店街」に必ず生かされることと思つた。*なお3月6日に開催する「横浜開港150円商店街」についての説明会でも、NPO AMPの齊藤一成局長をお招きしてお話をうかがいます。（詳細は本紙2ページ）。

(3)パネルディスカッション「元気な商店街に向けての取り組み」

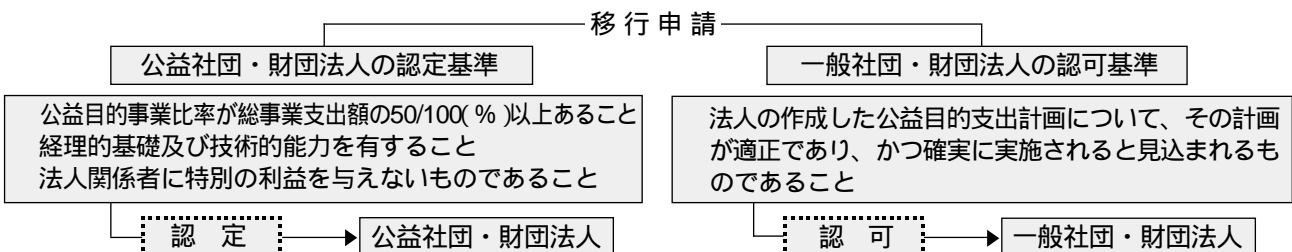
パネリストは、前記・秋山理事長と磯子区根岸橋通り商和会の堤会長、活動報告をされた方々。コーディネーターは、関東学院大学経済学部・福田敦准教授。

(2)の報告と合わせ、商店街以外の活動的な人材が参加することでイベントなどが活発になった」という一方、「商売を軸とする商店街活動と環境など商売以外の地域問題を取り扱うことについて、商店主とのギャップに悩む」という拠点運営者の声などが報告された。ただ、共通していたのは、「商店街が元気であったほしい。そのためには商店街の人々と一緒に汗を流す。自分たちの得意分野（環境、芸能、IT等々）で協力する」という住民や企業が商店街の周辺には少なくない、ということ。

パネリストの方々

平成20年12月より新公益三法が施行されました。

本施行に伴い、各公益社団・財団法人は、平成25年11月末日までの5年間に、新基準に基づき公益社団・財団法人か、一般社団・財団法人のいずれかに移行申請の上、認定あるいは認可を受けるよう定められました。



神奈川県中小企業振興財団 事務局・Tel 045-312-5186

横浜を一層盛り上げる年に

横浜F・マリノス・齋藤正治社長
横浜市商連・岡野誠一会長



万人、1試合平均2万2千人程度で推移しています。岡野 2万人以上なら悪くはないですが、7万人以上収容の日産スタジアムではガラランとする部分も出てきま

『よこはま市商連』150号記念特別企画として、横浜市を代表するプロスポーツ球団、横浜F・マリノスの齋藤正治社長と市商連・岡野誠一会長の対談をお送りする。

司会 本紙編集部・樋口泰雄

横浜市商連機関紙 150号記念

今年のマリノスに期待を

司会 昨年は残念な結果に終わったマリノスですが、今年は期待できるでしょうか？

齋藤 昨年のリーグ戦は9位に終わりましたが、それでも後半は若い力が台頭し、中堅、ベテランと調和したチームになり、天皇杯では14年ぶりのベスト4に残りました。今年は有望新人も加入しましたし、多くの市民に喜んでいただける結果を残したいですね。

司会 とところで、マリノス主催試合での観客数はどの程度でしょう。

齋藤 この数年は、20試合で44万〜45

また、多くの商店街さんでフラッグの掲出やグッズ販売、試合のチケット購入などで協力いただいています。司会 フラッグを掲出する商店街はどのくらいありますか？

齋藤 年々増えており、08年は、ホームタウンである横浜市と横須賀市で180を超えました。

岡野 どのスポーツでもそうでしょうが、チームが強くなれば自然と観客も増えるのでは。

齋藤 その通りです。マリノスも、選手

の育成・発掘システムの改善に努めています。また、子供たちの育成というこ

とで幼児や小学生などを対象としたサッカースクールを横浜・横須賀で5校運営現在約3500人が参加しています。

商店街としての関わり

フラッグ掲出やチケット購入等

司会 市商連や区商連、単会として、

プロスポーツ球団との関わり方は？

岡野 フラッグを街路灯などに掲出する商店街は増えていきますね。消費者サー

ビスの一環として、試合のチケットを購入したり、マリノスさんなどの協

力を得て子供サッカー教室を開催する商店街もあります。それと個人的希望

ですが子供たちのサッカー大会を区商連単位で開催、「準決勝、決勝はマリノ

スタウンで」というイベントもしたいですね。

齋藤 ぜひお願いします。ピッチ使用には便宜を図りますし、大会の運営面

でも我々のノウハウを提供しますから。

開港150周年盛り上げ！

「優勝が最大のプレゼント」マリノス

「150円商店街で」市商連

司会 さて今年には横浜開港150周年

年。多くの団体や企業などで盛り上げるための事業を企画しているようです

が。マリノスさんは？

齋藤 私共でも、市の開港150周年

プロジェクトに参加、マリノスタウ

ン

のグラウンドに大きな看板を設置する

などPRにも協力しています。しかし、

横浜市民への最大のプレゼントは、マ

リノスがリーグ戦で優勝することです。

岡野 ぜひ実現してください。

司会 市商連としての開港150周年

記念事業は？

岡野 商店街で記念ののぼり旗を出し

たり、イベントや売り出しのチラシ、

ポスターなどでPRするほか、「150円商店街」を予定しています。



岡野会長



齋藤社長

「優勝が最大のプレゼント」マリノス「150円商店街で」市商連

マリノス開幕戦は3月7日

- ・ J1リーグ2009開幕戦 3月7日(土)午後1時より日産スタジアム
- ・ 対戦チーム サンフレッチェ広島
- ・ チケット問い合わせ先 電話 277・2307



講演会 商店会加入促進

講師 桑島俊彦氏（全国商店街振興組合連合会理事長） 日時 2008年11月25日 午後6～7時
場所 横浜みなとみらい万葉倶楽部 多目的ホール

市商連では、商店会加入促進事業の一環として、昨年11月25日、講演会を開催しました。講師は、全国商店街振興組合連合会（全振連）理事長の桑島俊彦氏。全国で最初に商店会加入促進を条例に明文化したと言われる東京都世田谷区での取り組みを中心に、商店街の公共的役割、行政や議会との連携の重要性、消費税問題、共同販促事業としてのスタンプシール・ポイントカードなど話は多岐に渡りました。

以下、講演の概要を報告します。



迫力ある話に多くの参加者が引き込まれるように聴いていた

1. 世田谷区から始まった商店会加入促進運動

地場の店減少、チェーン店増加傾向

私の店のある東京・世田谷区の烏山駅前通り商店街には空き店舗は殆どない。出てもすぐに埋まる。空き店舗がないこと自体はいいのだが、問題はその内容。

例えば10年近く前にやめたある生鮮食品店のケース。年商は3000万円程度だったが、粗利30%、労働分配率40%として、親子3人の給料は年360万円、月にすると1人10万円。しかも売り上げは年々減少傾向にあり、両親は高齢になり仕事が見つかる。それで廃業を決意、あるチェーン店に貸したが、家賃は20坪で月80万円。収入だけ考えれば、苦勞して商売するより全然いい。

その店は店主が振組の理事、奥さんは女性部の役員、息子は青年部役員として、商店街のために動いてくれたし、商店街の盆踊りなどには必ず1、2万円の寄付をしてくれた。

しかし、新たに借りたチェーン店は、商店会には入らず、街路灯電気代の負担もしない。

ほかに、イベントの経費は負担しないし手伝いもしない、店長に話しても、なかなか本部の返事が来ない、といったチェーン店も少なくない。あるチェーンの本部からは「うちはいつ撤退するかわからないので、そういう

ものは家主からもらってほしい」と言われた。そんな店が増えている。

議会の協力も得て条例改正

それで6年前、私が全振連の理事長に就任し、中小企業庁長官らに挨拶に伺った際、「ドイツでは商工会議所に参加していないと商売できないような法律がある。日本でもそのような制度ができないものか」と要望した。しかし、「法律ではいろいろ問題もあり時間がかかる。条例がいいのでは」と助言を受けた。

そこで地元、世田谷区役所と区議会双方に相談したところ、既存の「世田谷区産業振興基本条例」という条例に、必要な項目を入れるよう議会で党が提案してくれることになり、半年ほどで同条例の改正（04年4月）の運びとなった。

条例改正のポイントは、(1)商店街内の事業者は商店会に加入し共に地域の活性化に努める、(2)商店街内の事業者はイベントなど商店街の事業には応分の負担をする、の2点。

条例施行後の活動が重要

世田谷区商連では、加入促進委員会をつくり、各商店会での活動をしやすいするためのマニュアル作成や説明会などを実施した。

事業の結果を把握するため、3～6カ月ごとに各商店会から新規加入店と退会店のデータを収集、加入店の多い商店会については表彰をしたり、どのようにして加入店を増やしたか報告をしてもらって情報交換会も実施した。

区長名でチェーン店本部に協力依頼の公文書

また世田谷区は、主なチェーン店約300社の本部に、この条例の趣旨に協力してもらうよう区長名で公文書を送付した。

加入促進委員会では、そのうち世田谷区に支店が多いチェーン店約30の本部を説明に回った。

桑島俊彦氏

全国で千団体以上の商店会やスタンプ・カード会などで普及している「烏山方式」と呼ばれるスタンプシール事業を地元、烏山駅前通り商店街振興組合で育てたリーダー。現在、烏山駅前通りのほか、世田谷区、東京都そして全国の商店街振興組合連合会の理事長を務め、国や東京都、世田谷区の中小企業関係、まち

づくり関係の委員などを歴任。まちづくり3法改正や商店街加入を促進する条例の普及などにも尽力。67歳。

その時に改めてわかったのは、チェーン店幹部らに、商店街の事業や運営がよく理解されていないこと。例えば、「街路灯はすべて行政が設置・管理している」と考えていたり、中には、「商店会の役員は、会費で飲食ばかりしているのでは」という人もいた。

商店会の事業報告や決算書を持って「商店街は、町会やNPO等と共に市民の日常生活を支える公共的役割を果たしている。地域の文化の創造・継承などの一翼を担っている。商店街がシャッター通りになったら地域の安全もおかしくなる。商店街が元気ならその地域は安全」という説明をきちんとすると、理解してくれるチェーン店幹部も多い。

また、新規出店者を斡旋する不動産業界には、「賃貸契約の重要事項に、『商店会への加入』を入れてほしい」と要望、了解をとりつけた。

4年間の加入・退会は差し引きゼロ！

ある安売チェーンの社長が、経済産業省の課長に、「条例があるなら（商店会加入も）しょうがない」と言っているし、焼肉チェーンの本部では「世田谷の店の分は30数店舗分一括して支払う」と言ってくれた。大手ハンバーガーチェーンも区内の全店が商店会に加盟している。

罰則規定はないが、条例があること自体に大きな意味がある。

区商連の機関紙のほか、加入促進専門の情報紙を年に数回発行して各商店会の取り組み状況を報告するなどの努力が実って、04年～07年度の4年間で約1400店が新たに加入した。

しかし、この間、同じぐらいの店が撤退・廃業しているのでプラスマイナス0ということになるが、加入促進の運動を展開していなかったら減る一方だったろう。

その意味では、この運動は大きな成果をあげているといえる。

2. 現状での消費税率アップは反対

経団連や自民党は「消費税率アップは当然」というスタンスだが、消費税率は逆進性の税で、税率が上がれば確実に消費を縮小させる。しかも、税金の使い方など増税の前にやるべきことはたくさんある。

例えば、世田谷区に明大前商店街振組という商店会がある。駅前に建物を借り、そこを拠点に毎日2回のパトロールをしていたら、管轄の北沢警察署管内でワーストワンの治安状況だったのが開始2年後からナンバーワンになった。その費用は年間300万円。ところが交番だと人件費を含め1億円もかかる。30分の1以下だ。このような例は他にもいろいろあるはずだ。

12月4日には、全国商店街振興組合連合会など中小小売商業10団体の代表が総理官邸に出向き、麻生首相と話し合う。20分の予定だが、消費税率増税については「慎重にしてほしい」と申し入れる。

3. 定額給付金

定額給付金は、ある意味、商業者にとってチャンス。烏山駅前通り商店街振組では、10年ほど前の地域振興券の時、買い物するとスタンプ（または併用のポイントカード）5倍を進呈（うち4倍分は同振組補填）し、当商店街全体で1億2000万円分を回収した。これは、年間数百億円を売る玉川高島屋と同額だった。

今回の定額給付金は世田谷区だけで120億円。地域振興券と異なり現金で振り込まれるので預金に回ったり、他区で使われる可能性もあるが、給付時期にプレミアム商品券を発行し、給付金でその商品券を購入してもらうことも検討中。商店街・個店の創意工夫に期待したい。

世田谷の商店街で買おう、知り合おう 地域とともに、地域のために

世田谷区商店街連合会では、昨年11月に「商店街加入促進・お買い物キャンペーン」を実施した。

目的は、(1)商店街の機能強化（加盟店での買い物促進、未加入店の加入促進など）(2)商店街（連合会）のネットワーク機能強化（商店街同士の連携による一体感の創出）(3)地域コミュニティとの連携強化（地域と商店街の協働）。

内容は、

(1)11月8日を「商店街の日」とし、「商店街の公共的役割」などを説明した新聞折り込みチラシを31万2000枚配付

(2)商店街来街者先着3万名に携帯ストラップ進呈

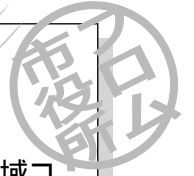
(3)商店街の街路灯などに世田谷区商店街加盟店証を表したキャンペーンフラッグを掲示

(4)商店会加盟店に「世田谷区商店街加盟店証」を掲示

など。



キャンペーンフラッグ（上）
商店街加盟店証（下）



平成 21 年度 横浜市商店街等支援事業の概要

地域経済や商店街の活性化を図るため、商業環境の整備、魅力ある商品・サービスづくりや、地域コミュニティの核としての商店街づくりなど、消費者や地域のニーズを捉えた振興施策に取り組みます。

* 21年度の事業内容については、市議会での議決を条件とするものです。

* カッコ内数値は、20年度予算額。

18,800千円(20,000千円)

1 商店街や地域経済の活性化に向けた支援事業

161,500千円(155,040千円)

【商店街等の販売促進のための事業に対し、時限的な緊急支援を行います。】

(1) 緊急経済対策事業 3,000千円(0千円)

ア 商店街統一販促支援事業

開港150周年の賑わいの創出、商店街の知名度向上並びに継続的な来街者の確保、商店街の活性化を目的に、市内商店街が統一的、継続的に展開する販売促進のための催事(横浜開港150円商店街)を支援します。

イ 「横浜逸品」支援事業

平成21年に横浜開港150周年を迎えることを機に、地域で親しまれている「逸品」等の全市的なPRや各個店の魅力発信を応援します。

- ・対象商品：応募までに(a)または(b)のいずれかを満たすもので、地域の土産品として親しみがあるなど、市域に誇れるものを「横浜逸品」に選定します。

(a) 市内で製造・生産され、店頭販売が可能なもの。

(b) 「横浜」や「開港」を連想できるもの。

- ・対象商品の募集：食品部門、非食品部門に分け、募集を行います。

- ・選定方法：一次審査により各部門10～15点に絞り込み、市民参加の人気投票等により、各部門上位5件を「横浜逸品」として選定する予定です。

- ・選定商品に対する支援内容：インターネットや情報紙等での商品・商店のPR、包装紙デザインの検討や店頭ディスプレイに対するアドバイザー派遣など。

【多様な活動団体の連携づくりを力に、地域経済の活性化を目指します。】

(2) 地域経済元気づくり事業(中期重点事業)

商店街とコミュニティビジネス事業者等の横断的な連携を図る拠点の事業者を公募により選定し、地域ニーズを把握した上で、新しい事業提案を商店街等に行うとともに、提案事業の取り組みに対する支援を行います。

【商店街活性化へ向けた最初の一步を応援します。】

(3) 商業経営支援事業 19,600千円(24,540千円)

ア マーケティング調査、勉強会等商店街支援

商店街の来街者調査等各種調査、集積力向上のための検討など、商店街のビジョン策定等の支援を行います。

イ 経営診断、企業マッチング等個別店舗支援

商店街内の個別店舗を対象に経営診断を行います。また、事業継承支援、店舗流動化支援など、商店街の店舗と起業家人材のマッチング支援を行います。

ウ 空き店舗活用助成

商店街の空き店舗を活用して開業しようとする優れたビジネスプランに対して、改装費や賃料の補助を行います。

エ 店舗流動化動向把握

モデル商店街での継続的な空き店舗及び後継者有無の動向などの情報収集を通じて、空き店舗活用支援及び事業継承支援を進めます。

オ 商店街後継者育成

商店街の若手リーダー向け研修：商店街活動を担う若手リーダーの活動のヒントとなるよう、講義・ワークショップ等も取り入れ、地域住民の暮らしを支える「商店街経営力」の向上を目指す研修を実施します。

若手経営者向け研修：商店街等の若手経営者のスキルアップを支援し、店舗後継者の育成と魅力的な店舗づくりの手がかりとなる研修を実施します。

【商店街で策定した活性化計画の事業化を応援します。】

(4) 商店街戦略的実践支援事業

48,600 千円 (29,000 千円)

ア 商店街提案型支援事業

地域経済元気づくり事業の成果を踏まえ、当該事業の実施区域内の商店街等が行う、地域との連携やまちづくりを視野に入れて立案した総合計画に基づき実施する事業を支援します。

イ 商店街ソフト支援事業

商店街等の団体が、自ら立案した計画に基づいて実施する、魅力や認知度の向上を目指すソフト事業に対し、プラン実践支援・商学連携支援・個店の魅力アップ支援の制度で応援します。

(5) 商店街環境整備支援事業

27,500 千円 (39,000 千円)

商店街が行う共同施設の環境整備事業に対して助成を行います。街の安全確保の観点から、老朽化した街路灯の撤去費用についての補助を新設するとともに、温暖化防止に向けて、省エネルギー効果の高い街路灯の設置について支援をします。また、公共施設整備計画と連携を図り商業基盤施設整備を行う商店街に対し、計画策定、設計、整備を支援します。

【身近な地域の安全安心・賑わいづくりにつながる商店街事業を応援します。】

(6) 身近な商店街支援事業費

41,000 千円 (41,000 千円)

ア 安全・安心な商店街づくり事業

自主防犯活動に積極的に取り組む商店街を対象に、自主防犯活動、街路灯電気料への助成を行います。

イ 商店街活性化イベント助成事業

地域の「にぎわい」や「交流」を生む商店街のイベント開催を支援します。また、開港 150 周年記念のイベント等の参加者を対象とした、複数区にまたがる商店街が合同で企画運営するイベントに対して助成を行います。

【より効果的な商店街支援に向けた検討を進めます。】

(7) 商店街支援施策検討事業

3,000 千円 (1,500 千円)

区局の役割分担のあり方など、効果的な商店街支援施策の検討を行います。

2 商店街経営実態調査

92,610 千円 (0 千円) < 緊急雇用創出事業 >

緊急雇用創出事業を活用し、商店街活性化策を検討する基礎資料とするため、商店街の概況や活動状況のほか、商店街商圈や顧客評価、個店の経営課題や事業継承意向など、商店街の経営実態を総合的に把握する調査を行います。

3 コミュニティビジネスへの支援事業

14,770 千円 (15,300 千円)

【コミュニティビジネスに関心を持つ人の初期相談から事業化、安定経営までを支援します。】

(1) コミュニティビジネス入門講座

各区と連携し、コミュニティビジネスの事例紹介を中心とした入門講座を開催し、起業人材を掘り起こすとともに、広く市民に PR します。

(2) コミュニティビジネス事業化支援事業

ビジネスプランを募集し、優秀なプランに対し、事業化経費の一部を助成します。また、専門家による経営支援を行います。

(3) コミュニティビジネス支援事業業務委託

初期相談、起業に必要な知識・ノウハウの講座、情報発信、先輩事業者・支援機関等とのネットワーク構築により、関心を持つ人が起業し、安定経営するまでのサポートを委託します。

【問い合わせ先】

横浜市経済観光局商業・コミュニティビジネス振興課
TEL. 0 4 5 6 7 1 2 5 9 1